

平成28年第4回(12月)大郷町議会定例会一般質問通告書

目 録

1. 石垣 正博 議員
 - 1) 水道事業の対策強化を

2. 赤間 茂幸 議員
 - 1) 高齢者対策について
 - 2) 定住促進対策について

3. 石川 壽和 議員
 - 1) eスタイルおおさとについて
 - 2) 町民の定住にも手当を
 - 3) 国民健康保険無使用の方に光を

4. 大友 三男 議員
 - 1) 住民バス及び小中スクールバスの運行を委託しているアスカ観光バスについて
 - 2) 異常気象で予想される大雨による水害対策について

5. 和賀 直義 議員
 - 1) 若者の定住促進施策について
 - 2) さらなる子育て支援について

6. 千葉 勇治 議員
 - 1) 公共事業の工期について
 - 2) 味明ニュータウン造成工事に伴う諸課題について

7. 若生 寛 議員
 - 1) 大郷町の魅力と情報の発信を

- 8) 高橋 重信 議員
 - 1) まちづくりは政策から

通 告 要 旨	備 考
<p>1. 水道事業の対策強化を</p> <p>本町は町土が82K㎡と広範囲で、民家が点在していることから多くの水道施設を有している。</p> <p>その水道施設は老朽化し大地震等で大分傷んでおり、構造物を主体に改築・更新の必要性が生じている。</p> <p>今後も大地震が危惧される。震災に対応した強力な耐震性能の確保も重要なところであり、限られた財源の中で長寿命化対策と並行して推進していかなければならない。</p> <p>施設はどの程度老朽化が進んでいるのか、また利用価値はどうかを検討し、施設を集約するなどの方法も取っていく必要がある。</p> <p>長寿命化対策もさることながら、計画的な各施設等の更新が急務と考える。</p> <p>そこで水道事業について伺う。</p> <p>① 水道事業に係る職員は充分確保されているか。</p> <p>② 水質検査はどのようにおこなっているか。</p> <p>③ 施設、送・配水管等の老朽化対策は充分なのか。</p> <p>④ 水道料金値上げの考えはあるか。</p> <p>⑤ 施設で利用している民間からの借入地は町で購入すべきでは。</p> <p>⑥ 水道事業の広域化についての考えは。</p>	<p>一問一答方式</p>

通 告 要 旨	備 考
<p>1. 高齢者対策について</p> <p>高齢者対策として、お祝い金の支給、高齢者への配慮等、保護する政策が中心であったように思う。</p> <p>長寿社会になった今日、優しくいたわってあげなければならない高齢者の方がいることも事実である。その前段として「自ら学びたい」「健康づくりに取り組みたい」と意欲を燃やしている高齢者がいるのも事実である。福祉行政の面で、こうした方々に対しての施策が欠けているのではないかと考え、2点について質問する。</p> <p>(1) 高齢者学級の開設について</p> <p>高齢者であっても学習意欲の旺盛な方はたくさんいる。ニーズは一樣ではなく、多様化し高度化していると考えが高齢者のニーズに対応し生涯にわたる学習機会が充実することは、本人の感性を磨き、認知症を防止することになり、本人にも社会のためにも有益であると考え。</p> <p>特に現在、団塊の世代が大量に退職した現状において高齢者学級を開設することが必要であると考え、町長の所見を伺う。</p> <p>(2) 健康づくりについて</p> <p>老いても健康でありたいというのは、本人はもとより家族の願いでもある。北海道幕別町では、保健・福祉・医療の連携による高齢者等の健康づくりを図る中核施設を整備し、その周辺に高齢者の健康増進や障害者の機能回復を目的とするゲートボール場、ジョギングコース、パークゴルフ場等を整備している。</p> <p>また教育民生常任委員会で視察研修した鳥取県湯梨浜町では、ウォーキング公認指導員によるノルディックウォーキング教室を開催し町民あげて健康増進を実施していた。本町においても高齢者等の健康増進施設を整備すべきであると考え、町長の考えを伺う。</p>	<p>一問一答方式</p>
<p>2. 定住促進対策について</p> <p>本町は人口減少を食い止めるため、それなりに工夫もし、鋭意努力をしている。若者が流出し、人口は下降線を辿っており、必然的に高齢化率は急速に上昇している状況にある。</p> <p>人口を増加させる近道は社会増、つまり町外の人を町内に転入させることと考える。会派で視察した熊本県玉東町の定住促進政策</p>	

は、田園地帯の宅地造成を町が実施し466人の人口増になり、特に30代～40代の世代が転入し子供達の世代の人口増となっている。奨励金の手当も厚く実施していた。「きれいな魅力ある町並み」を形成し住む人には「愛着と誇り」を、住んでないひとは「あこがれ」をスローガンに職員が生き生きと仕事をしている様に感じられた。

本町での定住促進対策のための具体策について伺う。

(1) 町有地を宅地造成し町外の人に分譲し人口増加を図る考えは。また、田園地帯の宅地造成を町が実施する考えはあるのか伺う。

(2) もし宅地造成を町が実施する場合、分譲の支援策として、一定期間無償で、事後に有償譲渡と、一定期間有料で事後に無償譲渡の2つの方法も考えられるが、具体的構想はあるのか。

(3) 定年後の居住地として田舎志向が強くなっている。定年退職者への住宅支援に対する考え方について、定年退職者が転入しても人口増にはなるが活性化につながらず、高齢化を高めることになる。こうしたことから、希望者の年齢制限をするのかどうか伺う。

宅地造成による人口増加は立派な施策ではあるが、それなりの問題点もある。以上3点について町長はどのように考えるか。

通 告 要 旨	備 考
<p>1. eスタイルおおさとについて</p> <p>脱メタボリックシンドロームの取り組みを、「e スタイルおおさと」と呼び、対象者への指導をおこなっている。担当者の方々の努力で特定検診の受診率は年々伸びているようであるが、メタボリックシンドロームについて、次の点について伺う。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. メタボと診断され、指導を受けた人の年毎の推移は。 2. 指導を受けない人の理由は。 3. メタボに対する町職員の意識は。 	<p>一問一答方式</p>
<p>2. 町民の定住にも手当を</p> <p>町外からの移住者の住宅新築支援と、町民が実家から離れて町内に住宅を新築した場合の支援内容の比較について伺う。 現に町内居住者には同等以上の支援を図るべきでは。</p>	
<p>3. 国民健康保険無使用の方に光をあてては</p> <p>国民健康保険を1年間まるっきり使わなかった町民、いわゆる病院のお世話にならなかつた町民が大勢いると思うがデータはあるのか。また対象となる方に何か光を当てられないか、例えば建町記念日に表彰するとか、次年度の住民検診をすべて無料にする等是非考えていただきたいが所見を伺う。</p>	

通 告 要 旨	備 考
<p>1. 住民バス及び小中スクールバスの運行を委託しているアスカ観光バスについて</p> <p>① 現在、(有)アスカ観光バスが、中粕川地区、大松沢地区の学校スクールバス(その1)の委託会社となっている。 新たに平成29年4月1日からの小学校スクールバス委託会社を選考するため、前回と同様の入札をおこなうと思うが、住民バス指定管理者として苦情や法令違反を繰り返すアスカ観光バスを小学校、中学校スクールバスに関して入札資格停止にするべきではないかと考える。平成24年の入札執行時の状況や指名通知書、入札調書の内容について伺う。</p> <p>② 平成27年1月23日付で住民バス指定管理者指定申請書が複数社から出された中、運輸規則や道路運送法に違反し平成26年8月20日に行政処分を受けている(有)アスカ観光バスを、なぜ指定管理者として決定したのか伺う。</p> <p>③ 苦情が多いという理由で平成27年3月31日まで契約が残っていた中、平成26年3月31日付けで(株)おおさと地域振興公社に対し、住民バス指定者の契約解除処分をしている。 しかし、現在の住民バス指定管理者である(有)アスカ観光バスについては運行管理体制に問題があると言わざるを得ない。平成26年及び平成28年度と2回も続けて法令違反をし、東北運輸局宮城陸運支局から今年6月に行政処分を受けている。このように法令違反を繰り返し、苦情が多いといった契約解除要件を満たすと思われる(有)アスカ観光バスに対し、今後公社と同様契約解除処分をし、他の優秀な民間バス会社を指定管理者とする考えがないか伺う。</p>	<p>一問一答方式</p>
<p>2. 異常気象で予想される大雨による水害対策について</p> <p>① 平成27年9月11日の大雨による水害が町内各地区であった。現在、国の吉田川流域の水害対策として、河道掘削工事をおこなっているが、今後異常気象による大雨で、袋地区、中粕川地区、土手崎三十丁地区、更には羽生地区などが吉田川堤防の決壊による被害を被ることは必至である。また集中ゲリラ豪雨により、町内各所において土砂災害、冠水被害も想定される。今後本町独自の水害対策を一層強化すべきではないか。</p>	

② 現在水害に遭われた方々に対し、町から一軒当たり 3 万円の
見舞金が出ている。しかし、災害復旧のためには多大な費用が
かかるため、本町独自の災害特別基金を作り災害に遭われた方
に対してもっと見舞金の増額を図ってはどうか、町の見解を伺
う。

通 告 要 旨	備 考
<p>1. 若者の定住促進施策について</p> <p>先般、政務活動費を使わせていただき、人口減少対策に果敢に取り組んでいる自治体を研修してきた。我が町も真剣に取り組んでいることは承知しているが、各自治体も、若者の定住に必死になっているのが現実であります。少子化対策・人口減少問題の観点から、若者の定住促進、さらなる子育て支援についての施策を以下伺います。</p> <p>1. 若者の定住促進施策について</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 現在の施策と、どのような検討がなされているか。 ② 1等地に若者の低廉な定住促進住宅を。 ③ 若者が常時集える場（青年会館）設置を。 ④ 婚活支援。 ⑤ 若者の夢チャレンジ応援事業の創設。 海外での語学研修、インターンシップ等に補助金を。 	<p>一問一答方式</p>
<p>2. さらなる子育て支援について</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 重点子育て支援施策と、どのような検討がされているか。 ② 出産祝い金を増額できないか。 第2子、第3子、第4子を順次厚く。 ③ 安心出産サポート事業 出産予定医療機関の近隣の宿泊施設などに宿泊して待機する場合、妊婦とその家族に宿泊費の一部を助成する。 ④ 入学応援事業 小・中学校に入学時にお祝いの品を送る。 小・中・高校へ進学する児童のいる世帯の経済的負担軽減を目的に商品券を贈る。 ⑤ 子育て応援アプリの作成 スマホを活用し、多様化する子育て家庭のニーズに沿った情報を提供。 	

通 告 要 旨	備 考
<p>1. 公共事業の工期について</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 27年度から28年11月末までの公共事業の入札件数並びに事業工期の延期した件数とその業者名について伺う。 2. 事業工期延期の主な理由について説明を。 3. 事業工期延期の申し立てについてどのような取り決めをしているのか。 4. 町は工期の延長届を受理するに当たりどのような取り決めをしているのか。 5. 事業工期延期業者に対するその後の入札参加等について、これまでなんらかのペナルティは講じていたのか。今後の在り方も含め伺う。 	<p>一問一答方式</p>
<p>2. 味明ニュータウン造成工事に伴う諸課題について</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 味明ニュータウン開発業者の説明によると、町の道路整備計画について「計画段階から承知している」と大郷町開発調整会議の席上で表明され、必要土量まで具体的に示している。味明ニュータウン宅地造成前の町道路整備計画についてどのような構想があるのか伺う。 2. 業者がなぜそのような計画を知っているのかその経過について調査し答弁を求める。 3. 宅地造成事業工期を平成38年3月までとし、その後に宅地分譲計画する内容に変更する「開発変更に伴う開発行為事前協議願書」が提出されている。このことに対する町長の所見を伺う。 	

通 告 要 旨	備 考
<p>1. 大郷町の魅力と情報の発信を</p> <p>「大郷町ってどこにあるの」「どの辺に位置するの？」県内外の研修先で、説明に苦慮したのは私だけではないと思われる。もっと大郷町ならではの特産物の開発と大郷町を発信すべきではないか。大郷町に興味を持ってもらえる工夫が必要と思う。</p> <p>そこで、次の点について伺う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 特産物の開発と販売促進について ② 支倉常長公を利用した町の情報発信を ③ 大郷ふるさと広報大使の委嘱を 	<p>一問一答方式</p>

通 告 要 旨	備 考
<p>1. まちづくりは政策から</p> <p>① イ) 学校給食の完全無料化 ロ) 出産第2子以降に対する誕生祝金</p> <p>財政難ではあるが、定住促進を図るためにも創生事業として取り組むべきと考えるが所見を伺う。</p> <p>② 緊急車両通行に困難な道路はいくつあるのか。</p> <p>9月に東成田地区で住宅の全焼火災があった。道路が狭いことにより、消防自動車の到着が遅れたことが原因のひとつと思われる。他地区にも同様に緊急車両通行に支障をきたすような道路があるとすれば整備が急務と考えるが、所見を伺う。</p>	<p>一問一答方式</p>

